

令和3年度 学校だより



令和4年3月17日(木)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 3月号③最終号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

第一小を支えてくださるすべての皆様に感謝を

本日、無事に令和3年度の修了式を迎えることができました。全校児童642人が全員現学年を修了して次の学年に進級します。振り返ってみれば、本年度も昨年度同様新型コロナウイルスの感染拡大により、感染防止対策強化を図らざる負えない状況にありました。多くの学校行事の変更や延期、日課の見直し等を行い、保護者や地域の皆様には、御心配をおかけしましたが、そのたびに御理解、御支援をいただきましたことに、私たち教職員はどれほど助けられ、勇気をいただいたことかできません。校長として、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

3月10日に実施した第一小スクラムスクール運営協議会(学校評議員会)に委員の皆様が御出席くださり、第一小の子供たちの様子や教育活動について、御意見をいただきました。

- ①子供たちや保護者の皆さんの学校評価が高まっている。
- ②安心できないと感じている子供の思いを聞いてほしい。
- ③コロナ禍の中、学校がよく持ちこたえている。子供たちと教職員の努力に感謝したい。
- ④ICT機器の活用力が進んでいるが、人同士のコミュニケーションをもさらに育成したい。
- ⑤学校現場は疲弊している。もっと地域に発信し、手助けをしてくれる人を募ったらどうか。

委員の皆様が協議してくださったように、第一小学校をさらに幸せの多い学校にするために、地域の皆様のお力をもっともお借りしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

☆修了式では、子供たちに『夢の実現』についての話をしました☆

『夢』というと将来の夢や初夢正夢を連想すると思いますか、夢にはいくつかの意味があります。その一つが将来実現させたいと考える事柄」という意味の使われ方です。皆さんは4月にこの学年で頑張る目当てや学期ごとの目標を決めて、毎日の授業に取り組み、様々な活動を行ってきました。この目当てや目標も4月に考えた1年後の夢でした。努力と工夫でその夢は叶いましたか。3月10日に行った50周年記念事業も、昨年度から願い続けた第一小みんなの夢でした。コロナ禍の中であっても、みんなの努力と工夫で実現することができた『夢』です。…中略…みんなの夢を実現できた第一小だからこそ、これからもっとも自分やみんなの『夢』に向かってチャレンジできるのではないのでしょうか。そして、もっとも幸せいっぱいの学校になると、私は期待しています。皆さんと一緒に「みんなの学校をみんなで作る」『夢』に向かって、これからもそれぞれの場所で頑張っていきましょう。

(校長増田久美子)

